



SSKP

つくしんぼの会報誌

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

1999年3・4月号
(No. 31)

編集～フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 042(796)8468

三六六歩目からの春

マーチ

あれから一年

補助金を貰えるようになって、
いつしか三六五日が過ぎました。
おかげ様で単年度事業として切
り捨てられることもなく、今年

度も補助金が頂けそうです。
(昨年度より合計額は少ないん
ですけどね。ハハハ)
思えばこの一年、右も左も分
からぬままに三歩進んで二歩退
がるを繰り返してきたつくしん
ぼです。歩きながら「何をどう
してつたらしいか?」をひとつ
ずつみんなで考えてきたように
思い出されます。

目標!! 1050人

実は去年の四月頃、とっても
不安でした。だって職員すらちゃ
んと決まっていないままに新年
度に突入してしまったのですか
ら。そんな状態で、年間の
べ1050人の通所人数
を本当に確保することが出
来るかどうか?

それまでのつくしんぼは
遊びに来たい時にだけ親と
一緒に遊びに来るという場
所でした。でも、子どもが
ずーっと来たくなくなっちゃ
たらどうなるの? 人数が足
りないと補助金を返さなきや
ならないんだから……。
だけど、そんな不安もす
ぐに消えました。職員が見
つかり、母子分離が出来る

♪♪♪つくしんぼ日記♪♪♪

2月27日(土) 天気くもり

つくしんぼにやってきたステップワゴンでさ
こにも行ってないから、ドライブに行こう~っ
……というわけで房総半島へ花巻に行く計画
を立てて、いざ出発!!

ところが、久里浜に到着したものの、強風の
ためにフェリーが動いていない!
さてどこへ行こう?.....。

仕方なくじターン。目的地を八景島シーパラ
ダイスに変更です。

でも、この変更は大正解でした。水族館も遊
園地も思いきり楽しめました。天候不順でおい
ていたのも大ラッキー。フェリーには乗れなかっ
たけど、ハ景島一周の遊覧船にちゃんと乗れた
から満足満足。

いやあ、行きあたりばったりが得意のつくしんぼらし
い一日でした。



二年目のジンクス?

ただ、いつまでも黙って
いるわけにもいきません。
つくしんぼの最上級生は高

デイサービス事業 に関する疑問

つくしんぼは東京都のデイサー
ビス事業としての補助金を受け
て運営されている「放課後保障」
のための施設です。学童保育的
な活動なので療育はしていません。
ゆえに「療育は他の施設で
お願いします」と親達には言つ
ています。

ところが、他の療育施設もま
たデイサービス事業として活動
をしているわけです。
そして先日、年度末になつて
「98年度分を含めて他の施設と
の名簿の重複を解消したい」行
政サイドから連絡がありました。
おそらくは開発には無駄金を
捨てている東京都の予算削減に

通信がおとなしい?

「つくつく通信がおと

なしくなった」そう皆さ

んからよく言われました。

でも、本音を言うと、

これはある程度は仕方な

いことだと思っていました。

金を得てすることが目的

だったのですから。だから

毎号繰り返しで「金をくれ
!! 金をくれ!!」って叫び続
けたわけで……。

昨年の四月以降は、デイ

サービス施設である以上、

今より多くの補助金を得る

ことは制度上不可能。そ

うと声もついつい小さく

いうものでした。よく考えて

みれば当たり前のことなのに、

そんな当たり前のことをさら出

来ていいなかつたつくしんぼだっ

たのですから、今となってみ

れば笑い話です。



ささえる会」「入会・ご更新
ありがとうございました

校二年なのです。

子どもの施設であることはもちろん
ですが、他のこと

いろいろと考
えていかなければな

いことだと思つていました。

つくしんぼとは別に、南地区

の障害児の親達が集まつて「南

地区に作業所を!! づばさの会」

も活動をスタートしています。

この会とも情報を交換し合い、

これからのことを考えていきた

いと思つています。

そう、つくしんぼには二年目

のジンクスなど断じてないので

す。ジャイアンツの高橋クンと

同様に……。

ありがとうございました

高尾様、坂井様、加藤様、鈴

木様、大久保様、高倉様、箱

崎様、岩本様、江端様、戸嶋

様、安藤様、松下様、須永様、

ネクストまちだ21様、南郵便

局様、「近所の匿名希望様

（2・3月）

真野様、豊田様、杉崎様、曾

輪様、吉野様、佐治様、池田

様、奥山様、奥平様、上原様、

江端様、堀内様、平井様、飯塚

様、前山様、清水様、小川様

ありがとうございます

まつたくわけの分からない
うか?

それより何より、つくしん
ぼに通つている子ども達は療
育を受けてはいけないのでしょ
うか?

まつたくわけの分からない
うか?

制度ばかりで頭が痛い今日こ



സംസ്കാരം

うつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです



つくしんぼの活動時間は
月曜日～金曜日、放課後
～午後5時まででーす!!



親父の会「MOK」

宇佐美 操

oya ji、おやじ、親父……。

いい響きで私はこの言葉が大好きで、私の父ももう老人になってしましましたが、仕事人間で小さい頃はほとんど遊んでもらったことはなかったのですが、なぜか山へつれていったもらったことが今でも記憶の中にある、悪いことはあまり浮かんできません。

そんな頃の親父と同じ年代になって、
もっともっと子供とふれあいたいと思い、
たまたま親父の会を結成するという話を

Mさんから聞いてこういう人がいたのか
とびっくりし、又うれしく思いまして会
に入らせて貰った次第で、今に至ってい
ます。

当初は10人でスタートし、少しづつですが賛同する人が増えて来て、年中行事も徐々に増えて、MOK最大の行事伊豆大島旅行は3回を数えるようになりました。

MOKのお父さん方は仕事があるので全員参加することはあまりないのですが、みな一生懸命に取り組みそのパワーはすごいものです。

一例をとりますと、養護学校の8月に行われる祭り（盆踊り）にMOKで出店する品物を確保しにいくんですが、その品物とはカブト虫＆クワガタ虫を茨城の北浦に夜取りいくのですが、朝方まで取り、50匹位確保します。もちろん子供は連れていきませんが、もう童心に返り明るくなって、皆気づくんですね。「帰ろ

うか」と。それで、その日に寝る暇なく、今度は魚取りに、子供を連れて埼玉まで行くんですね。子供たちは喜んでいる子もいるし、ポーカーフェイスの子もいますが、こうして外で皆と交流を深めると楽しいし、「なにやってんの」と近所の人たちが声をかけてきてくれます。

そんなことで、親父たちは子供たちと楽しんでいます。いや子供たちをだしにしているのかなー。それでもいいと思っているし、子供たちを外に出し、社会に一步でもとけ込ませていきたいと思っています。

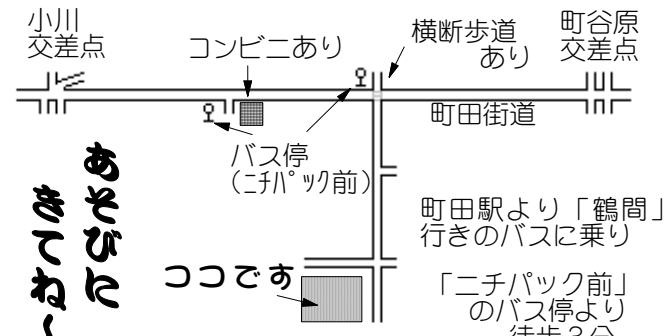
でもでも山下さんのパワーにはMOKが
束になつてもかなわないです。(^_^;)

「MOK」は東京都葛飾区にある水元養護学校に通うの障害児の父親達で結成した“父親の会”です。宇佐美さんは副代表をなさっています。

(宇佐美さんのE-mailアドレス
ogenkide-usa@hi-ho.ne.jp)
ご寄稿、ありがとうございました。

MOKのホームページ <http://www.amy.hi-ho.ne.jp/win-hashi/index.htm>

♪つくしんぼの地図♪

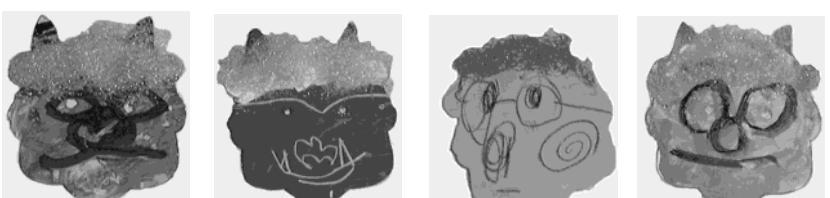


田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分です



つくしんぼ美術館

節分の時に作った鬼のお面たちで～す



私たちちは、ハンド・ダイを持つ子ども達の放課後活動の場として、月に開所し、おかげで九八年四月より補助金を頂ける団体として認められました。しかししながら、公的資金だけでは、運営が苦しいことは相変わらずです。そこで皆様にお願いがござります。本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが、「つくしんほをされる会」に入会しては頂けませんでしょうか。

円でお願いします。
会員になつて頂いた方に
は、毎月、この機関誌「つ
くづく通信」お届けさせて
頂きます。

年会費の
支払いは、関
係者に直接お
渡し頂ぐが、お近くの郵
便局より下記の口座番号
にお振込いただければ幸
いです。

よろしくお願ひ申しあ
げます。

郵便振替口座番号 00120-7-168283
加入者口座名称 フリースペースつくしんほ